

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	656	配信日	2026/2/2	ジャンル	業界情報
テーマ	ロレックスが大幅値上げ！？1月の価格改定について				

2026年1月1日から、ロレックスが価格改定されました。
この影響により価格を見ての来店が増える可能性がありますので値上げの理由を把握しておくことと権威付けになります。

モデル別の値上げ幅は以下の通りです。

- ・ステンレスモデル：約6～7%
- ・コンビモデル：約8～9%
- ・ゴールドモデル：約10%前後

特に金を多く使用しているモデルほど、値上げ幅が大きくなっています。
人気モデルのデイトナ（126500LN）も、約249.9万円まで上昇しました。



【値上げの理由】

今回の価格改定には、主に次の3つの要因が関係しています。

【理由①】金価格の高騰

ロレックスの価格改定で、最も影響が大きいのが金相場の上昇です。

金は「安全資産」として世界的に需要が高まり、2025年には1オンス＝2,600ドル超と過去最高水準を更新しました。

つまり、金の仕入れ価格が上がる＝製造コストが上がるという関係になります。

実際に過去の改定ではゴールドモデルが先に・大きく値上げされる傾向がはっきりしています。

（例）

- ・2025年：イエローゴールドのデイトナ → 約20%値上げ
- ・デイトジャストのコンビモデル → 約15%前後の値上げ

金価格は今後も相場が上がりやすく、ゴールド・コンビモデルは特に影響を受けやすいと考えられます。

【理由②】為替（円安・スイスフラン高）

ロレックスはスイスで作られ、価格の基準はスイスフランです。

そのため、「円安になる」「スイスフランが強くなる」と、日本での販売価格は自然と上がります。

2025年時点では、

- ・1スイスフラン＝約195円
- ・2024年と比べて、約20%の円安

ロレックスは、国ごとの価格差が大きくなりすぎないように定期的に定価を調整しています。

実際、2022～2025年に円安が進んだ時期には日本でも5～7%前後の値上げが行われました。

為替は一時的に落ち着くこともありますが、長期的には不安定な要因として価格改定に影響します。



【理由③】米国の関税問題（将来リスク）

近年、新たなリスクとして意識されているのが関税問題です。

特に、アメリカでスイス製時計に高い関税をかける案が話題になりました。

もし関税が強化されると、流通コストが10～20%上昇する可能性があります。

ロレックスは世界で価格差を大きく出さない方針のため、アメリカだけでなく他国の価格にも影響が波及します。

現時点では「確定」ではありませんが、金価格・為替と重なることで

値上げ要因として意識され始めている状況です。